

### 第3回総合計画策定委員会 審議内容への対応状況

第3回総合計画策定委員会における御質問について次のとおり回答いたしますとともに、御意見について次のとおり対応状況を御報告いたします。

#### 1. 質問への回答

No	素案の該当箇所	質 問	回 答
1	資料4 14 ページ	市内総生産では水産業が88億円とあるが、平成27年の水揚げ高は197億円となっている。これらの数値の捉え方の違いを教えてください。	市内総生産の数値は、産出額から中間投入を控除した金額となる。八戸市の市内総生産の内訳（産出額や中間投入額）は公表されていないため不明だが、県の算出式を参考にすると、水産業の県内総生産36,206百万円は、産出額70,962百万円から中間投入額34,756百万円を控除した額となっており、率にして産出額の49%が中間投入として控除されている。よって、御質問の2つの金額の違いは、中間投入額の控除が主たる要因だと推測される。 なお、平成28年の水揚げ高234億円に対して、平成28年の水産業の市内総生産は117億円となっており、差額が117億円(50%)となっている。
2	資料4 14 ページ	市内総生産について、畜産の表記が見当たらないので、どこに含まれているのか教えてください。	畜産業の産出額（付加価値額）については、農業のところに含まれている。

## 2. 意見への対応状況

No	素案の該当箇所	意見	対応状況
1	資料4 14 ページ	市内総生産を見ると水産業の規模が小さくなっている。おそらく漁業産業が八戸市全体の1パーセントとなっているが、水産業の関係者が「水産業」という言葉を使う場合には、漁業プラス流通加工業を合わせており、このままだと八戸市の水産業が過少される可能性がある。したがって、このグラフの表記を「漁業」と変更するか、漁業と流通加工業の合計値や水産業の経済効果を併記してはどうか。	【対応済】 一次案 22 ページに製造品出荷額の内訳が確認できるグラフを記載している。
2	資料4 17 ページ	製造品の出荷額と従業員数の図があるが、この両方を掛けたグラフは意味を持ってないと思うので、一人当たりにして人数で記載した方がいいのではないか。	【対応済】 一次案 23 ページに製造業の生産性を示すグラフを記載している。
3	資料4 18 ページ	戦略を立てる際に、基礎のデータが違っていると、正しい戦略が描けなくなる。VISIT はちのへでは、市内の宿泊データの正しく把握するため、ホテル協会に加盟するホテル以外からも宿泊データを収集している。この宿泊データには、国別の外国人のデータもあるので、そのデータを追加していただきたい。	【対応済】 一次案 24 ページに外国人の宿泊数を記載している。
4	資料4 26 ページ	資料には「夏涼しい」と書いてあるが、最近は夏が暑くなっており、学校施設では今まで冷房がなかったものを、冷房がないと熱中症になるような危機的な状況となっている。また、自然災害についても、今回の台風 19 号のように全国的には大きな被害を受けたところがある。八戸市が省エネなどに取り組み、環境に優しい都市を作ることは非常に重要だが、地球環境は世界的な問題なので、なかなか厳しい状況だと思う。したがって、気候変動を踏まえた地域の安全のためのインフラ整備を長期的に取り組んだ方がいいのではないかと思う。また、農業については、南の農産物が八戸でも耕作できるようになってきており、畜産についても、南の地域では養鶏が厳しい状況になってきているため、北の地域に優位性が生まれ始めている。さらに、水産業についても、海水温が上がっていることを前提に、施策を展開することが必要だと思う。	【対応案】 政策2 専門部会及び政策3 専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら、農水産業及び防災対策の具体的な施策の内容を審議していただく。

No	素案の該当箇所	意見	対応状況
5	資料4 28 ページ	市の歴史や文化について、現代的な取組に対しての賞の一覧に加え、文化的な市民力の高さを記載してはどうか。	【対応予定】 文化的な市民力の高さの表現方法について検討している。
6	資料4 35 ページ	第2章の2040年までの展望の中に「Society5.0」が掲載されていたが、多くの分野に関係するので、全ての施策の中で意識しながら、内容を検討していただきたい。	【対応案】 各専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら具体的な施策の内容を審議していただく。
7	資料4 41 ページ	自然環境が非常に危機的になってきていて、海洋資源に関しては、水温の変化によって旬の時期以外に水揚げが増えたり、コンブの養殖などが厳しくなったりしている。そういう状況にある中で、先ほどの将来都市像『ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市』には、自然との共生というキーワードが入るべきではないかと思ったが、文化という言葉の中に、そういう意味が含まれていると理解したので、異論はない。6つの政策の中に、政策3で環境という言葉がある。SDGsにも関連するが、自然との共生が当面の課題になると感じるので、ここを少し膨らませていけばよいと思う。	【対応案】 政策3専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら具体的な施策の内容を審議していただく。
8	第4章 42 ページ	平成17年に協働のまちづくりの基本条例が施行され、これまで15年近く経過しているが、条例の内容ではなく、進め方の部分で見直す段階にあるのではないかと思う。当然、一定の成果を得ていると思うが、八戸の若いひとたちがまちづくりに参加できていない、理解していない現状を踏まえると、政策的に、意図的に若い人がまちづくりに参加できるような方向性にしていかなければならないと思う。	【対応案】 政策1専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら具体的な施策の内容を審議していただく。
9	資料6	障がい者が輝くためには仕事だけではなく、余暇的なことも必要だと思う。障がい者を生活面で支援するためにソフト的、ハード的な取組を進め、誰もが暮らせる地域になっていくことが望ましいと思う。	【対応案】 政策4専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら具体的な施策の内容を審議していただく。

No	素案の該当箇所	意見	対応状況
10	資料6	<p>高齢者の福祉について、2025年までに介護職が想定で3,600人ほど不足をすることが見込まれています。現在も施設は整備されているが、働く人たちがおらず、ベッドがフル稼働していないところも多くあると思う。そういった意味で、女性が介護離職をしないように職場環境を整えようとしても、介護離職等をせざるを得ないような状況があったりします。また、女性の活躍といっても、男性と女性のどちらが離職するかという話になると女性が仕事を辞めるという風潮があるように感じるので、男女共同参画の実現はまだ道半ばであろうと思う。さらに、長期的な視点も重要だが、目先の5年間で、高齢者が増えて介護人材が不足するという中で、根源的なところを深く掘り下げていく必要があると思う。</p>	<p>【対応案】 政策4専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら具体的な施策の内容を審議していただく。</p>
11	資料6	<p>政策4のところに「障がい者支援の充実」という施策がありますが、働くことに対する支援が必要かと思うので、その辺りの配慮をお願いしたい。また、「障がい者の社会参加の促進」について、2020年のパラリンピックでパラスポーツが盛り上がるのが予想されるので、その点を踏まえるべきだと思う。加えて、バリアフリーやユニバーサルデザインに関しても、重要になっていくと思う。</p>	<p>【対応案】 政策4専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら具体的な施策の内容を審議していただく。</p>
12	資料6	<p>観光について、最も懸念しているのは、DMO（VISITはちのへ）が設立されて観光振興に対する市の考え方が分かりにくくなっているため、総合計画の中で、考え方を示さなければ市民の方々に対して伝わらないのではないかなということです。また、商工会議所では観光に関する取組がなくなりましたが、行政と商工会議所などの関係団体が一緒にやっていく必要があると思う。観光について、どのように議論していくのか教えていただきたい。</p>	<p>【対応案】 政策6専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら具体的な施策の内容を審議していただく。</p>

No	素案の該当箇所	意見	対応状況
13	資料6	政策3が「暮らしを守る」という名称になっているが、衛生、防災、健康のそれぞれで「守る」という表現では、消極的な印象を受けるので、積極的な言葉にしていきたいと思う。	【対応案】 政策3専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら具体的な施策の内容を審議していただく。
14	資料6	政策2の施策で農林業、畜産業、水産業とあるが、資料4の14ページの市内総生産の内訳とのつながりが分かりにくいと思う。	【対応案】 市内総生産については、当市の経済活動を把握するために、全国共通の基準（産業分野）で当市の産業別の付加価値額を表している。その一方、総合計画第5章の施策2の産業分野については、地域特性などを参考にしながら当市の産業を分類している。
15	その他	総合計画を考えるときに、SDGsには「これから全ての人に健康と福祉」というような理念があるため、障がい者に対する視点が重要だと思う。	【対応案】 政策4専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら具体的な施策の内容を審議していただく。
16	その他	第4次・第5次総合計画のときに観光が審議の中に出てきて、そこから観光に対する関心が産業界でも高くなってきている。今後も、観光をビジネスとして捉えた場合は、経済効果を検証していく必要があると思うので、その点に配慮しながら議論していくべきだと思う。	【対応案】 政策2専門部会及び政策6専門部会の審議の中で、当該意見を踏まえながら、観光に関する具体的な施策の内容を審議していただく。
17	その他	内閣府が国のまち・ひと・しごと創生総合戦略については、11月に第2期の案を公表しているようですが、国の予算を戦略的に獲得していくには、策定委員会でも把握しておく必要があると思うので、資料を提供していただきたい。	【対応済】 第5回策定委員会の「提供資料」として配付している。